（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	京都府立こども発達支援センター　児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和7年6月30日		～	令和7年7月31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	81	（回答者数）	79
○従業者評価実施期間	令和7年6月30日		～	令和7年7月31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの様子や支援内容等について保護者との共有や保護者支援の実施。	親子で通っていただく中で、保護者に療育場面での子どもの様子や職員の関わり方を見たり子どもに合わせた支援の経験や相談をしていただく等、家庭生活にも繋がる支援を意識して取り組んでいる。	保護者との面談や相談の中で、職員から伝えられる内容の充実や保護者の満足度が高まるように、今後も研修受講や職員間の協議等を通して職員の研鑽に努める。
2	多職種と連携した子ども支援や保護者支援の実施。	こども発達支援センター診療所の各専門職と連携して、子どもの支援方法を検討したり、保護者向け学習会等の保護者支援を実施したりしている。	子どもの様子や保護者の思いに合わせた保護者支援を今後も企画・実施していく。
3	子どもが就園している幼稚園や保育所、こども園への訪問支援の実施。	保護者との面談の中で園生活での子どもの様子を聞き取ったり随時保護者からの要望を受けたりして、必要に応じて療育担任が保育所等訪問支援を実施している。	幼稚園や保育所、こども園の先生に職員から伝えられる内容の充実や訪問先施設との連携が高まるように、今後も職員の研鑽に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が話したり相談したりできる機会が少ない。	クラス懇談や保護者支援の中で保護者同士が交流できる機会を設定しているが、主に親子通園の方が対象になっていたり交流がある事の発信が不足したりしている。	並行通園の方も参加していただける保護者交流会の機会を検討して設定する。また、通園談話室を使用できる事を保護者に発信する。
2			
3			

（別紙４）

公表　　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名：京都府立こども発達支援センター
児童発達支援

公表日　Ｒ７年１１月１２日

利用児童数　８１名（児童発達支援：７７名／重心：１名／居宅：３名）　Ｒ７年7月１日

回収数　７９名（児童発達支援：７５名／重心：１名／居宅：３名）

※回答記載欄　上段：児童発達支援　中段：重心　下段：居宅

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の取り組みについて
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	70	3	0	2		クラスの活動内容や状況に応じて子ども達への療育を行えるように、その日の空き部屋を活用してクラス毎に使用時間や活動内容を調整します。
			1	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか	67	5	1	2	しっかりと見てくださり、ありがとうございます。	法的な配置基準に基づき、適切なサービス提供体制を確保します。また、より良い支援を提供できるよう職員の研鑽や配置に努めます。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	3	生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされていると思いますか	70	3	1	1	・診療所が遠い。毎週セラピーのたびに荷物を持ち歩行できない子を連れて行くのは大変。 ・視覚的にもわかりやすく、本人も理解しやすいようです。	子ども達にとって安全で過ごしやすい環境となるよう努めます。保護者からのご意見には、担任とも相談しながら保育環境を工夫し改善に努めます。
			1	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	67	5	1	2	・並行通園ですが、トイレの手洗い場のマットが敷かれてない事が何度かあります。 ・駐車場に日差しを避けられるような物があったら嬉しいです。	子どもや保護者の皆様が気持ちよく施設を利用していただけるように清掃と整理、消毒等を行っていき、快適な保育環境を保っていけるように努めます。日々ご利用いただく中でお気づきの点がありましたら、担任等までご連絡下さい。
			1	0	0	0		
	5	（バス通園の方のみ） バスの利用に関して困っていることはありませんか	8	1	2	3	・再診の時もバスお願いします ・いつも気持ちよく利用させていただきありがとうございます。セラピーの関係で、乗ったり乗らなかったりして申し訳ないです。これからも、よろしくお願いします。 ・いつもお待たせしてしまいすみません。 ・早い、着くのも早いのでもう少しゆっくりでも？	京都府南部全域が通園圏内という広域になり、限られた通園バス台数の中で保育時間に合わせて長時間の乗車にならないように、乗降場所を拠点化したバス運行となります。到着時間につきましても、早く着きすぎないように適宜調整します。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の取り組みについて
適切な支援の提供	6	子どもの事を理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	67	6	0	2	・クラスが変わり、不安に感じていたが、先生方がうまく情報伝達していただいていたおかげで、本人も心地よく過ごせている。 ・子どもが難聴なので、簡単な手話と音声で伝えてもらえたらより本人に伝わると思います。 ・本人も毎週楽しみにしています。	子どもの様子や目標を保護者と共有し、必要に応じて多職種と連携や相談をしながら、日々の子どもへの支援やクラス活動を設定します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	7	公表されている支援プログラム（ホームページにて公表）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	63	2	1	9	ホームページのどこに載っているかわかりません	こども発達支援センターホームページの「支援プログラムの公表」に載せています支援プログラムにつきまして、子ども達への支援内容を随時検討していく中で、必要に応じて公表している内容の見直しも随時行います。
			1	0	0	0		
			2	0	0	1	ホームページ見ます。	
	8	子どもの事を理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか	74	1	0	0	いつも私のつたない説明から、素敵な言語化をしていただきありがとうございます。	保護者との面談を行って保護者の思いや家庭での様子、事業所での様子を共有した上で、クラス担任と児童発達支援管理責任者とで検討をして個別支援計画書を作成します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	9	個別支援計画書には、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目の中に、必要な支援や具体的な支援内容が設定されていると思いますか	74	1	0	0		個別支援計画書に各項目を設け、子どもの様子や課題に合わせた目標や取組を記載します。各項目の記載内容でご不明な点等がありましたら、随時相談対応をします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	10	個別支援計画書の内容に沿った支援が行われていると思いますか	69	2	0	4		クラス活動の内容やねらい、子どもに取り組んでもらいたい事などについて、適宜説明をしながら進めます。ご不明な点等がありましたら、随時相談対応をします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	11	毎回の活動内容が、固定化されず、子ども達の特性や課題に合わせて柔軟に設定されていると思いますか	68	6	0	1	2、3回で内容が変わるのでありがたいです。	クラス集団での活動内容や目標等について担任間での話し合いや児童発達支援管理責任者等を交えた協議を定期的に行い、子ども達の様子や成長に合わせた活動となるようにします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	12	就園や就学後の集団生活や人との関わりに繋がる支援がされていると思いますか	63	6	0	6	・親子通園なので子どもは親の方に行きがちになり、子ども同士の関わりが少ないように思います ・まだそういった場面での話し合いが未定です。 ・もう少しきびしくしていただいてもいいかもです。	幼稚園や保育所、こども園への訪問を行い、実際の集団生活や想定される園生活を把握して、日々の活動内容や支援方法を検討します。活動内容や関わり方について、保護者の思いやお気づきの点等をいつでも担任にご相談下さい。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
保護者への説明等	13	事業所を利用する際に、契約書や重要事項説明書、事業所での支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	75	0	0	0	丁寧に説明いただき、こちらにしてよかったと心から思っています。	通園開始前の見学時や契約時に、事業所での支援内容や利用者負担、契約書や重要事項説明書等について説明します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	14	個別支援計画書を示しながら、支援内容の説明がありましたか	74	1	0	0		前期・後期の個別支援計画書作成後には、個別に時間を設定して個別支援計画書のお渡しと説明をします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の取り組みについて
	15	事業所では、保護者や家族も参加できる学習会や情報提供の機会等がありますか	64	3	1	7	・ないように思います ・保護者支援の内容はいつもとても勉強になっている。	保護者支援として学習会やクラス懇談、保護者交流会や給食試食会等を設定します。
			1	0	0	0		
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況等について共通理解ができていると思いますか	70	5	0	0	週に1回だし、先生と個別に話せる時間は始まる前くらいで、もう少しそういう時間が欲しい。	親子で通っていただく中で、実際の子どもの様子や大人の関わり方を共有しながら、保護者と一緒に子どもの発達や支援等について考えます。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	17	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	71	3	0	1	毎回、助けていただきありがとうございます。	日々の通園の中や定期的な面談、保護者からの相談に対する随時面談の中で、子どもとの関わり方等に関する相談対応をします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
保護者への説明等	18	職員から共感的に支援をされていると思いますか	70	3	0	2		保護者や子どもの思いに寄り添い、思いを尊重した上で、専門的視点を合わせた話や支援をします。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	19	保護者や家族同士が話したり相談したりできる環境やそのような場が作られていると思いますか	57	12	2	4	・少ないように思います ・親同士だけで話す機会がなかなかなく、日頃の気持ちを吐露する場所がなかなかない ・並行保育になり、機会が減ったと思いますがまた時間を作ってくださったら有難いです。	親子通園の取り組みとして、午後の保護者支援やクラス懇談の後に保護者交流の時間を設定します。給食試食会の中でも、保護者同士でお話をしながら食べていただけるようにします。また、保護者同士が自由に話などでも使用していただける談話室があります。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	20	子どもや保護者、家族からの相談等について、対応の体制（時間の確保や環境設定等）への配慮がされていると共に、そのような場がある事について周知・説明され、相談をした際に迅速かつ適切に対応を受けられると思いますか	62	4	1	8	私は他の保護者がいる場でも出来る相談をしているが、そうでない場合についてはわからない。	親子で通っていただく中で、保護者からの相談をお聞きした際には随時時間を設定し、相談内容や保護者の思いに応じて場所を設定して対応します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	21	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	68	5	0	2	言いにくい事がある時にメールなどで相談できるといいと思います。	プライバシーの保護に留意し、保護者に合わせたコミュニケーションとなるよう配慮します。また、子どもに伝わりやすい伝達手段や表現しやすい発信方法を検討して日々の関わりを行います。メールでの対応はありませんが、相談内容のメモや文章でいただいても、その後の相談対応は同様に行います。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	22	連絡（配布物、掲示物、口頭説明等）で、活動内容やねらい、子どもの様子、今後の予定等の説明、自己評価の結果を発信していると思いますか	69	3	3	0	・ねらいはお聞きしているが、自己評価はあまり聞いていない。 ・子どもの様子？自己評価の結果？	親子で通っていただく中で、直接のお話や保育通信等の配布物、保育室内での掲示で子どもの様子や連絡事項等をお伝えします。保護者アンケート等による事業所の自己評価の結果については保育室内の掲示とホームページの掲載にて発信します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	23	個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか	67	3	0	5		個人情報の取扱いについては十分留意し、保護者の了解を得ながら関係職員や機関との連携を行います。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	24	事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応等の取組や流れ（マニュアル）が策定され、保護者への説明、実際の取組や訓練が実施されていると思いますか	66	2	0	7		事故防止や防犯、感染症等の備えとして、各種マニュアル作成・整理や対策を行い、職員の研修や訓練をします。
			1	0	0	0		

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の取り組みについて
非常時の対応	25	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思いますか	71	2	0	2		災害等発生時に備えて各種マニュアルを作成・整理し、職員での訓練や子ども達との避難訓練を行います。
			1	0	0	0		
	26	子どもの安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	70	3	0	2		安全に配慮しながら心地よく過ごせる環境を整えて支援を行います。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	27	事故（怪我等を含む）等が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故等が発生した際の状況等について説明を受けられると思いますか	71	0	0	4	以前、給食中にピックを飲み込んでしまいご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。看護師の方をはじめ、教職員みなさんに情報共有がされて、再発防止を早々にしていただきありがとうございました。	親子で通っていただく中で、子どもの怪我や緊急事態が発生した際には、その場で保護者と確認しながら看護師や診療所医師と連携して対応します。
			1	0	0	0		
			1	0	0	2		
満足度	28	子どもは安心感を持って登園していますか	73	1	0	1	何よりも親が安心して通えています	子どもに安心感を持ってもらえるように、日々子ども達の思いに寄り添いながら支援します。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	29	子どもは登園を楽しみにしていると思いますか	54	11	0	10	・担任の先生を筆頭に、いつも子供のことを見ていただき、ありがとうございます。よりよくするために、色々なご提案などがあって本当にありがたいです。 ・眠たい時間帯でまだまだ体力がなさそうです ・トイトレ中のため、パンツを嫌がるが、頑張ってるので楽しいよりも成長段階のため今は ・毎週楽しみにしており、降園後すぐから「〇〇組さんいつ？」「すてっぷ行く」と1日に何回も言ってます。よほど楽しみなようです。 ・楽しんで通っています！	子どもが楽しみにして通えるように、活動設定や関わりに様々な工夫や配慮をしながら支援します。子どもの様子や職員の関わり方等についてお気づきの点がありましたら、いつでも担任等にご相談下さい。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		
	30	事業所の支援に満足していますか	71	4	0	0	今年度、よく課長さん？を保育中にお見かけするので、役職の方が現場をみていただけているという安心感もとてもあります。いつもありがとうございます。	当事業所での特色を活かしながら、保護者の思いと子どもの様子に合わせた支援を検討し実施します。また、満足していただける事業所となるよう、職員の研修等で専門性の向上に努め、子どもの成長に繋がる保育や支援を行います。
			1	0	0	0		
			3	0	0	0		

公表　事業所における自己評価結果

事業所名：　京都府立こども発達支援センター　児童発達支援

上段：児童発達支援センター職員

下段：児童発達支援事業・居宅訪問型児童発達支援職員

公表日：　令和７年１１月４日（作成）

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6 2	3		遊びの内容によっては、部屋を 2 部屋開けたり、別室を利用。 クラスによって広さが違うため、大人と子ども、職員が入ると、かなり狭さを感じる。活動を他の保育室を使いながら、解消につとめてはいましす。 人数が多い時の動きが悪いと感じる場面がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	5 2	2	2	訪問なども増え、通常保育の間で行くとなると、適切な時期に行けない場合も出てくる為。 人数が足りないため、新規児を受けられない。枠の使い方を工夫して、どうにかしようとはしてくれていると感じる。 職員数に対して受け入れ人数を調整しているが、それ以上に需要がある（通いたい方がいるため）ので、職員数が増えればいいと思う。 もう一人増えるだけで業務の回転が良くなるのではないかと感じる。
	3	生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9 2			保育室は視覚的に刺激が少ないようにする為の工夫がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	8 2	1		クラスによっては狭い部屋があります。 活動内容を工夫しながら、解消につとめています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9 2			
	6	保護者等向けアンケートや評価表を活用する等により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9 2			
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8 2	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9 2			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8 2	1		もっと参加できる状況が増えると、業務にもいい影響があると思う。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	9 2			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9 2			
	12	個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9 2			
	13	個別支援計画書に沿った支援が行われているか	9 2			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 2			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9 2			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画書を作成しているか	9 2			
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9 2			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8 2	1		
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8 2	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	9 2			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議、関係機関や施設との連携会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9 2			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9 2			
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8 2	1		

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8 2	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9 2			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8 2	1		
	27	専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8 2	1		
	28	他機関・施設を合わせて利用されているケースに対して、保護者の話や訪問等を通して、連携や情報共有をした支援を行っているか	9 2			
	29	各市町の自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	8 2		1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9 2			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して特別な支援を行っているか	9 2			
保護者への説明責任等	32	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8 2	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画書」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか	9 2			
	34	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9 2			
	35	保護者同士が話したり相談したりできる環境を作れているか	9 1	1		個別対応の方は難しいので、職員が傾聴を心掛けています。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9 2			
	37	定期的に保護者への伝達や会報発行等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9 2			

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9 2			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9 2			
	40	各市町の機関や地域の施設からの見学、実習生やボランティア受け入れ等、開かれた事業運営を図っているか	9 2			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9 2			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9 2			
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9 2			
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか	8 2	1		
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8 2	1		
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9 2			
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8 2	1		報告書は開示されていて、情報共有はできていますが、事例集といわれると、わからない点があるため。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	京都府立こども発達支援センター　放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年6月24日	～	令和7年7月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	４６名	（回答者数）	４３名
○従業者評価実施期間	令和7年7月8日	～	令和7年7月18日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	５名	（回答者数）	５名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校生活等での集団活動や友だちとの関わりの上で難しさや困り感を持つ子どもや、様々な事に対する不安が高く不安との向き合い方に難しさを持つ子どもに対して、ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）等を用いながら集団活動の中で療育を行っている。	子どもの様子や課題に応じたクラス編成を行い、集団活動の中で困り事や課題に対する取り組みができる環境設定をしている。また、活動を通して適切な自己理解や表出スキルの獲得・実践ができるように、職員複数名で日々の活動プログラムを検討して実施している。	対人面や集団活動、認知面の課題に対する支援方法や個々の子どもの支援内容について、研修受講や職員内での検討等を進め、支援の質を今後も高めていく。
2	こども発達支援センター診療所の担当医師と情報共有等の連携をして支援している。	こども発達支援センター診療所の職員との会議を定例開催し、ＳＳＴ実施内容の確認や検討を行っている。また、定期的に担当医師と放課後等デイサービスでの子どもの情報を共有したり、必要に応じて支援の方向性等を検討・確認したりしている。	こども発達支援センター診療所との情報共有等を継続して医療との連携、保育所等訪問支援を通して教育との連携した支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援プログラムや非常災害等の緊急時の対応、保護者交流会について、周知不足がある。	ホームページに公表している事や、各種マニュアルや保護者交流会の館内掲示場所について、発信が不足している。	放課後等デイサービスのしおりに掲載している非常災害等の緊急時の対応についてオリエンテーションで説明する事や、各種マニュアルや災害ハザードマップを手に取って見ることができるように置いている事の発信を徹底していく。また、保護者交流会について、年間予定の配布と共に、年６回の保護者交流会の日程が近づいた際に保護者にその都度発信していく。
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	京都府立こども発達支援センター　放課後等デイサービス

公表日　Ｒ７年１１月６日

利用児童数　Ｒ７年６月１日　４６名　　回答数 ４３名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	37	3	1	2	・5人以上だと運動部屋が狭く感じるものの、先生方が工夫されていると思います ・運動する部屋がもう少し大きくてもいいかな？と感じることもあります。	スペースに限りはありますが、活動の人数や目的に合わせた部屋の使い方に配慮し、子ども達の活動と安全が保障できるように努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか	42	1	0	0		法的な配置基準に基づき、適切なサービス提供体制を確保します。また、より良い支援を提供できるよう職員の研鑽や配置に努めます。
	3	生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされていると思いますか	41	1	0	1		子ども達にとって安全で過ごしやすい環境となるよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	42	1	0	0	・もうちょっと広かったいいと思う	子ども達が心地よく過ごせる環境設定や、活動に合わせて部屋の使い方を工夫します。
適切な支援の提供	5	子どもの事を理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	40	1	0	2	・現在、全体のグループでの活動が中心のように見受けられ、娘にとって必要な専門的支援が行われているのか、娘の特性に合った支援が受けられているのか分からない状況です。支援の中でどのように理解し、身についている状況かを教えていただけるとありがたいです。	活動前後の打ち合わせと振り返りを行い、子ども個々の様子や目標を把握して、活動や支援の内容を検討します。 子ども個々に関する話は、定期的な面談や随時の相談の中でお伝えします。
	6	公表されている支援プログラム（ホームページにて公表）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	37	1	0	4 無回答１		子ども達への支援内容を随時検討していく中で、必要に応じて公表している支援プログラムの見直しも行います。
	7	子どもの事を理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書が作成されていると思いますか	43	0	0	0		保護者や子どもとの面談を行い、学校や事業所での子どもの様子を把握した上で、事業所職員内で検討をして個別支援計画書を作成します。
	8	個別支援計画書には、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目の中に、必要な支援や具体的な支援内容が設定されていると思いますか	38	2	0	2 無回答１		個別支援計画書に各項目を設け、子どもの様子や課題に合わせた目標や取組を記載します。
	9	個別支援計画書の内容に沿った支援が行われていると思いますか	38	0	0	5	・まだ通ったばかりなので分かりません。 ・⑤と同意見	個別支援計画書に設定された目標や取組と共に、直近の子ども達の様子から必要と思われる支援内容に合わせて、日々の活動を設定します。
	10	毎回の活動内容が、固定化されず、子ども達の特性や課題に合わせて柔軟に設定されていると思いますか	39	2	1	1	・⑤と同意見	活動前に、事業所職員内で活動内容の検討や確認を行い、日々の活動が固定化されず、子ども達の様子や目標に合った内容にします。
	11	学校や放課後等での友だちとの関わりに繋がる支援がされていると思いますか	38	3	0	2	・＜授業中＞学校でだけの内容だと感じる。放課後や休み時間は違うように思う。 ・⑤と同意見	学校生活や放課後等での子ども達の様子を把握し、友だちと関わる際の行動や課題に繋がる活動内容を設定します。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、契約書や重要事項説明書、事業所での支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	41	2	0	0		通所開始前の説明会や通所開始時の契約時に、事業所での支援内容や利用者負担、契約書や重要事項説明書等について説明します。
	13	個別支援計画書を示しながら、支援内容の説明がありましたか	43	0	0	0		前期・後期の個別支援計画書作成後には、個別に時間を設定して個別支援計画書のお渡しと説明をします。
	14	事業所では、保護者や家族も参加できる学習会や情報提供の機会等がありますか	43	0	0	0		保護者学習会（年２回）と保護者交流会（年６回）、保護者参観（年２回）とクラス懇談（年２回）を設定します。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況等について共通理解ができていると思いますか	40	2	1	0		保護者の送迎時に話をしたり、記入いただいた相談事に応じて個別面談を設定したりします。
	16	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	41	0	0	1 無回答１		定期的な面談や保護者からの相談に対する随時面談の中で、子どもとの関わり方等に関する相談対応をします。
	17	職員から共感的に支援をされていると思いますか	41	0	0	2		保護者や子どもの思いに寄り添い、思いを尊重した上で、専門的視点を合わせた話や支援をします。
	18	保護者や家族同士が話したり相談したりできる環境やそのような場が作られていると思いますか	37	2	0	3 無回答１		保護者同士の話や相談の場となるように、保護者交流会（年６回）とクラス懇談（年２回）を設定します。
	19	子どもや保護者、家族からの相談等について、対応の体制（時間の確保や環境設定等）への配慮がされていると共に、そのような場がある事について周知・説明され、相談をした際に迅速かつ適切に対応を受けられると思いますか	41	0	0	2		通所開始時に、保護者からの相談を記入いただける用紙や相談対応の説明をします。保護者からの相談には、随時時間を設定して対応します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	40	2	0	0 無回答１		プライバシーの保護に留意し、子どもや保護者に合わせたコミュニケーションとなるよう配慮します。

	21	連絡（配布物、掲示物、口頭説明等）で、活動内容やねらい、子どもの様子、今後の予定等の説明、自己評価の結果を発信していると思いますか	41	1	1	0		活動終了後に子どもの様子も交えながら活動内容を伝え、予定等を連絡します。自己評価の結果については館内の掲示とホームページの掲載にて発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか	41	2	0	0		個人情報の取扱いについては十分留意し、保護者の了解を得ながら他機関との連携を行います。
非常時等の対応	23	事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応等の取組や流れ（マニュアル）が策定され、保護者への説明、実際の取組や訓練が実施されていると思いますか	39	2	1	1		事故防止や防犯、感染症等の備えとして、各種マニュアル作成・整理や対策を行い、職員の研修や訓練をします。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思いますか	35	1	0	7		災害等発生時に備えて各種マニュアルを作成・整理し、職員での訓練や子ども達との避難訓練を行います。
	25	子どもの安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	41	0	0	2		安全に配慮しながら心地よく過ごせる環境を整えて支援を行います。
	26	事故（怪我等を含む）等が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故等が発生した際の状況等について説明を受けられると思いますか	41	1	0	1		怪我や体調不良の際には、保護者に連絡して対応を相談したり、お迎え時に子どもの様子や経過を伝えたりします。
満足度	27	子どもは安心感を持って通所していますか	42	0	0	0 無回答１		子どもに安心感を持ってもらえるように、日々子ども達の思いに寄り添いながら支援します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていると思いますか	38	4	0	1		子どもが楽しみに思えるような活動設定や関わりに配慮しながら支援します。
	29	事業所の支援に満足していますか	39	3	0	1		当事業所での特色を活かしながら、保護者の思いと子どもの困り事に合わせた支援を検討し実施します。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名：　京都府立こども発達支援センター　放課後等デイサービス

公表日：　令和７年１０月１０日（作成）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	0	基準としては問題ないが、質の向上という意味ではもう少し必要。
	3	生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	5	0	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	
	6	保護者等向けアンケートや評価表を活用する等により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	5	0	0	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	
	12	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	0	0	
	13	個別支援計画書に沿った支援が行われているか	5	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	平日・休日・長期休暇によって子どものコンディションが異なる事を念頭に活動内容や支援を検討する。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画書を作成しているか	4	1	0	
	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	クラス間での事前打ち合わせが十分でない際に対応に困ることがあるため、活動前までに必要事項を共有しておく。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	21	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	

関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業のサービス担当者会議、関係機関や施設との連携会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換等）、連絡調整（トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	通所前に利用していた相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	
	26	事業所を退所し次の障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0	
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	
	28	他機関・施設を合わせて利用されているケースに対して、保護者の話や訪問等を通して、連携や情報共有をした支援を行っているか	5	0	0	
	29	各市町の自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して特別な支援を行っているか	5	0	0	
保護者への説明責任等	32	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	
	33	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	34	保護者同士が話したり相談したりできる環境を作れているか	5	0	0	
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	36	定期的に保護者への伝達や会報発行等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	39	各市町の機関や地域の施設からの見学、実習生やボランティア受け入れ等、開かれた事業運営を図っているか	5	0	0	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか	3	2	0	保護者への説明はしているが、子どもに対して説明する時間は設けていない。職員間で共通認識と言えるほど対応をすり合わせていない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	医師の指示書ではなく、保護者の申し出に従い対応方法を職員と共有している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	

（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	京都府立こども発達支援センター　保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	Ｒ７年６月３０日		～	Ｒ７年８月３１日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	45	（回答者数）	51
○従業者評価実施期間	Ｒ７年６月３０日		～	Ｒ７年８月３１日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	19	（回答者数）	19
○訪問先施設評価実施期間	Ｒ７年４月１日		～	Ｒ７年８月３１日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	45	（回答数）	46
○事業者向け自己評価表作成日	Ｒ７年１０月３日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援や放課後等デイサービスと合わせた保育所等訪問支援の実施している事で、子どもの様子や特性を把握した上で療育担当が訪問支援を行い、より適切な支援方法の相談や助言ができる。	児童発達支援や放課後等デイサービスでの療育場面での様子や支援だけでなく、訪問先施設での様子や状況を把握し、訪問先施設で取り組んでもらいやすい支援方法を相談する。	保育や教育等の集団場面や環境の中で、実施されている支援方法や支援の考え方を情報収集し、提案できる支援方法を今後も検討していく。
2	セラピスト等、専門職と連携した支援体制。	訪問支援前に保護者から集団生活の場面での困り事や状況について聞き取りを行い、必要に応じてセンター医師や専門職と相談して訪問支援を実施する。	専門職間の連携強化のための組織体制を整え、チームアプローチを推進していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の支援内容等について、発信が十分で無い面がある。	保育所等訪問支援を契約されているが、受けられた事の無い家庭もあり、実際の支援の内容を知らないケースもいる。	定期的な面談の中で、集団生活の様子を聞き取ると共に、支援できる内容を伝えていく。
2	訪問支援の要望が出た際や、訪問先施設との日程調整の中で、現在の職員体制では迅速な対応が難しい場合が考えられる。	訪問支援の担当を療育担当が兼ねており、児童発達支援や放課後等デイサービスの実施状況によっては迅速に動く事が難しい時がある。	訪問支援の内容に応じて訪問支援を行う職員を柔軟に検討し、必要時には迅速に動ける体制を作る。
3			

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	京都府立こども発達支援センター　保育所等訪問支援

公表日　Ｒ７年１１月６日

Ｒ７年４月１日～Ｒ７年８月３１日

利用児童数　４５名　　回答数 51

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
体制	1	子どもの様子に応じた訪問支援を受けられる職員体制だと思いますか	48	2		1	・本人の課題に合わせた内容を適切に見ていただき、支援してもらっていると思う。	訪問支援の内容に応じて訪問する職員を検討・調整して実施します。
適切な支援の提供・保護者への説明等	2	子どものことを十分理解し、子どもと保護者の思いや困り事等に基づいた支援内容が設定された保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか	50			無回答１		今後も保護者との面談を行い、お子さんへの理解を深めた上で、個別支援計画書を作成します。
	3	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）は、訪問先施設の状況や子どもの様子、担任等の話に合わせた内容になっていると思いますか	49			1 無回答１		個別支援計画書については、保護者からの聞き取りを基に作成し、訪問先の担任等と確認して必要に応じて支援内容を検討します。
	4	訪問先施設での困り事や保護者の悩み等について、面談や助言等の支援を受けられると思いますか	45	1		4 無回答１	・先週訪問していただいた所なので、まだわかりません。	定期的な面談と共に、保護者からの困り事や悩み事等の相談があった際には、随時面談を実施します。
	5	保育所等訪問支援の実施時期や時間について、相談の上決定されていますか	49			1 無回答１		保護者から聞き取った訪問支援の目的や内容に応じて、訪問時期や時間を訪問先施設と調整します。
	6	訪問支援実施前には、担当者と子どもの様子や状況、保護者の思い等について共有できていると思いますか	48			2 無回答１	・しっかりと話を聞いてくださり嬉しかったです。	保護者からの要望に基づき訪問支援を実施しており、その聞き取りの際に保護者の思いやお子さんの様子も共有します。
	7	訪問支援実施時の目的や支援内容の説明がありましたか	49			1 無回答１		保護者からの要望の聞き取りの際や訪問支援実施前に、訪問支援の目的や内容を伝えます。
	8	子どものことを十分に理解し、保育所等訪問支援計画や保護者の要望を踏まえた適切な訪問支援が受けられていると思いますか	47	1		2 無回答１		療育場面等でのお子さんの様子を把握した上で、保護者からの要望や個別支援計画書の内容を確認して訪問支援を実施します。
	9	保育所等訪問支援を実施した際、訪問先施設と必要な情報共有や子どもへの支援の相談が行われていると思いますか	43	3		5		療育場面での様子と訪問先施設での様子等の情報を共有した上で、お子さんと訪問先施設の状況に合わせた支援方法を相談します。
	10	保育所等訪問支援の実施後に、保護者に対して訪問先施設での様子や支援内容について報告、共有されていますか	44	3		4 無回答１	・報告がアンケート後に行われるため	訪問支援実施後に、訪問先施設でのお子さんの様子や先生との話の内容について保護者と共有します。
満足度	11	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか	嫌がっていない（４３）	2	嫌がっている（０）	6	・先日とても楽しみにしていました。ありがとうございました。	お子さんの状態や思いに応じて、訪問支援の実施方法について保護者や訪問先施設と相談して対応します。
	12	こども発達支援センターの訪問支援に満足していますか	45	1		4 無回答１	・訪問回数を増やしてもらえるとありがたいです。 ・先日は暑い中、わざわざ我が子のためにご訪問ありがとうございました。なかなか幼稚園の様子や、園への必要なアプローチをご提案いただき、私では到底できないことを色々と提案していただいたことを本当に感謝しております。 ・先生はすごく頑張ってくれていると思うが、ＯＴＳＴ的な研修があればいいと思う。 ・すごく寄り添って下さり、とても満足しています。	お子さんの様子や保護者の思いを確認をし、訪問先施設でのお子さんの生活がより過ごしやすくなるように訪問支援を実施します。

※保育所等訪問支援は児童発達支援・放課後等デイサービスと合わせての利用が基本となりますので、児童発達支援や放課後等デイサービスのアンケート内容と重複する質問項目については、そちらで集計・回答をしています。

（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
京都府立こども発達支援センター　保育所等訪問支援

公表日　Ｒ７年１０月３日（作成）

利用児童数　Ｒ７年４月１日～Ｒ７年８月３１日（４５施設訪問）　回答数４６件

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	45	1		・すてっぷで取り組んでおられることや支援方法など交流することができてよかった。 ・学校の実態を聞いていただいたうえで、ご助言等いただけたのでとても参考になりました。 ・具体的解決にはならなかったが、色々な手立ての模索にはなった。 ・ステップでの姿を具体的に教えていだき、本児の姿をよくとらえられた。 ・１つひとつとても丁寧に答えていただき具体的なアドバイスをいただけとても勉強になりました。 ・ステップでの保育の様子も知ることができてよかったです。 ・療育での姿をわかりやすく教えていただき、支援方法など参考にすることができました。 ・すてっぷでの姿や、保護者の思いや考えも教えていただけて良かった。	実際の子どもの様子や訪問先施設のクラス集団の様子を共有しながら訪問先施設の職員との懇談を行い、訪問先施設でも実施してもらいやすい支援方法を相談します。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	44	2		・よく理解できた。 ・先生方思いや考え方などいろいろあり、様々な支援の仕方があると思う。 ・具体的な支援方法等を提案していただけた。 ・どの様にかかわれば良いか戸惑いが様々ありましたが、支援の仕方を教えてもらえ、さすが・・・と思いました。 ・支援の仕方や保護者との関わり方など教えていただき、学びになりました。	職員の資格取得の推奨と業務の必要な知識やスキル習得のための研修会に適宜職員を派遣し、訪問支援を行います。また、訪問支援の内容に応じて療育担当や専門職が訪問します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	45	1		・わからないことも一緒に悩み考えてくれて助かった。 ・悩んでいることや疑問など質問することができた。 ・丁寧にご回答いただきました。 ・とても適切なアドバイスをいただけ保育園でやってみようと思うことが多々ありました。 ・とても親身に考えてくださり、適切に回答していただきました。	訪問支援での懇談時に訪問先施設の職員の質問や悩みを確認し、子どもの特性を踏まえた支援方法や関わり方について相談・提案します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	43	3		・事象をたくさん聞いてくださり一つ一つ丁寧にお話をしてもらって参考になります。 ・学校だけでは把握しきれないことについても、具体的に丁寧に連携させていただき、とても貴重な時間でした。 ・今後どのように園で取り組んでいくか保護者と相談しながら支援方法を考えていきたい。 ・解消することは難しかったが、軽減された。 ・丁寧に話を聞いていただき、保育士のなやみ事や気持ちもホローしていただけました。 ・今後話していただいたことを取り組んでいく中で、どう本人ができるようになっていくかはまだ見通しが難しいです。 ・関係機関と協力しながらチームとして親子に関わっていく大切さを改めて感じました。	訪問支援での懇談時に訪問先施設の職員の思いや施設の意向を確認し、子どもの特性や在籍クラスの様子に応じた支援方法を相談します。

5	こども発達支援センターからの訪問支援に満足していますか。	45	1		・アドバイスをしていただくと共に今の自分の指導を少しでもあたたかく認めてくださりありがたく思います。 ・一人一人合った援助を丁寧にされていて、意見交流させていただいたことをいじゃしていきたい。 ・初めてこのような訪問支援を受けさせていただきましたが、とてもありがたい連携だったと思います。ありがとうございました。 ・園訪問の依頼に対してすぐに対応いただけ、とてもありがたかったです。 ・このような機会にお話を聞いたり、一緒に考えていけたりすることはとてもありがたいです。	子どもの様子や特性、訪問先施設での集団の様子や職員の思いを共有し、子どもが過ごしやすく、訪問先施設で取り組みやすい支援方法を相談します。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・今後も不安になりながらの指導が多いですが助言の方よろしくお願いします。 ・本日はありがとうございました。ご協力できることがあればまたご連絡いただけますとありがたいです。 ・今回、訪問に来ていただき、支援センターでの様子がよくわかり理解を深めることができました。今後も連携させていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。 ・それぞれの施設での違いや同じ点があり、それらを共有できたり確認できたりしてよかった。 ・訪問していただけ、アドバイスをたくさんいただけ、本当によかったです。専門的なアドバイス、本当にありがたく思いました。ありがとうございました。 ・本児の気になる所や悩みを聞くことができて、とても良かった。今日、アドバイス頂いたことを他職員と共有し、本児のよりよい支援へとつながるようにしていきます。 ・ありがとうございました。 ・園だけでなく療育との交流でたくさん学ばせて頂いてます。ありがとうございます。 ・今日は、ありがとうございました。 ・すてっぷさんでの本児の様子を聞かせてもらい、新たな発見がありました。引き続き連携をとり進めていきたいと思います。 ・改めて、対象児の困り感に気づくことができました。人というより関わり方を大切にします。	子ども達が過ごす保育や教育等の集団生活の場において、集団の中で生じている子どもの困り事や子どもを取り巻く環境について、訪問先施設の職員と共通理解を持ちながら、子ども達が安心して楽しく集団生活を送ることができるよう支援します。

（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	京都府立こども発達支援センター　保育所等訪問支援

公表日　Ｒ７年１０月３日（作成）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する用具・備品（車両、撮影機器など）は適切であるか。	14	5	・公用車１台故障もあり、車の台数を増やしてほしい。 ・訪問に行く時間が足りない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	6	・保護者の希望に迅速に対応できる状況かと言うと、場合によっては難しい様子がうかがえた。 ・件数が多い為、行く時間が足りない。	
業務改善	3	業務の進行や改善のためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	2	・普段から職員同士で、情報共有したり相談したりしている。 ・広く職員の意見が取り入れられている様子は感じられない。	
	4	アンケートを活用する等により、保護者や訪問先施設からの事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか。	18	1	・どの様な意見が出ているのか分からないので何とも言えない。	
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	2	・外部評価の実施や、評価結果を自分が把握できていない	
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	1	・もっと増えてほしい。 ・流行性の病気等地域で流行っている感染症等の研修や発信がある。	
適切な支援の提供	7	子どもの様子や状況を図るために、標準化されたアセスメントを行っているか。	17	2	・標準化できるように、今アセスメントの取り方やアセスメントシートについて話し合っている	
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	19			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者と子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どものより良い生活を考慮した検討が行われているか 。	19			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の状況や子どもの様子、保護者や訪問先施設の担当の話に合わせた内容になっているか。	18	1		
	11	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	18	1	・充実した内容になりにくいので、今後作成する際には、より丁寧に作業したいと思います。	
	12	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	1	・共有できていないかもしれません。共有します。	
	13	支援開始前には職員間で打合せを行い、支援の内容や複数職員での訪問の場合には役割分担を確認し、関係職員で連携や情報共有を行っているか。	19		・先輩の職員が後輩の職員を上手くフォローし、みんなで連携して実施できるよう協力体制ができている。	
	14	支援終了後には、職員間で支援の振り返りや報告等を行い､気付いた点等を共有しているか。	18	1		
	15	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援方針を尊重して支援を行っているか。	18	1		
	16	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	1	・記録をしきれていない日がある	
	17	定期的に保護者や訪問先施設の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	2	・意向確認、モニタリングはできているが、計画の見直し、再作成には至っていない。	

関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、対象の子どもの様子や状況に精通した職員が参画しているか。	18	1	・会議があまりないです。	
	19	ケースの必要性に応じて、地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行える体制を整えているか。	19			
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	19			
	21	自立支援協議会や子ども部会、地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	3		
保護者等への説明等	22	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19			
	23	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	19			
	24	保育所等訪問支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	19			
	25	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	19			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や訪問先施設での様子について共通理解を持っているか。	19			
	27	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言等の支援を行っているか。	19			
	28	子どもや保護者からの相談や要望等の申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19			
	29	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19			
	30	子どもや保護者の様子に応じて、意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19			
	31	当センターで、家族等も参加できる研修会を開催したり、情報提供の機会等を設けているか。	18	1	・すくないとおもう。	
訪問先施設への説明等	32	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	19			
	33	訪問先施設との間で、子どもの様子等について情報共有を図っているか。	19			
	34	保育所等訪問支援の際に、訪問先施設と子どもの支援等について情報共有や検討を行っているか。	19			
	35	訪問での支援に加え、訪問先施設からの相談等に適切に応じる体制を整えているか。	19			
	36	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	19			
非常時	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	1	・訪問先へ向かう道中、訪問先での非常事態に対しての対応について、確認が必要だと思う	
	38	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19			

等の対応	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19			
	40	万が一身体拘束を伴う支援を行う際には、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援支援計画書に記載しているか。	19		・保護者への説明はあるが、子どもに対して分かりやすく説明する時間は設けていない。また職員間で「共通認識」と言えるほど対応をすり合わせていないと考える。	